

川崎地域連合

県内視察を実施

川崎市南部学校給食センターと

富士通テクノロジーホールを視察!

毎年、川崎地域連合役員を対象に実施している県外・県内視察は、10月10日（水）川崎市内にある川崎市南部学校給食センターと富士通テクノロジーホールを訪問しました。

1. 川崎市南部学校給食センター

川崎市は2017年よりセンター方式による中学校の完全給食を全校で実施しました。政策制度要求で取り上げていた経緯があり、中学校に配給している給食センターを視察先に選定しました。1日最大1.5万食が生産可能な当給食センターは衛生管理が徹底されていて、安全・安心を実感しました。この給食センターの最大の特徴は自動炊飯ラインで、毎日炊き立てのご飯を食べられるとのこと。本日の給食をいただき、美味しいことも確認できました。



説明を聞く参加者



自動炊飯ライン



給食を受け取る(奥)・食べる参加者

2. 富士通テクノロジーホール

午後は、富士通(株)川崎工場内にあるテクノロジーホールを訪問し、1960年式リレー式自動計算器から、「京」で知られるスーパーコンピューター、コミュニケーションロボットなど富士通の歴史と技術に触れることが出来ました。とくに、高齢社会に対応した「居住者見守りソリューション」は、離れて暮らす家族の生活を支援するためのIoT技術に未来を感じました。



説明を聞く参加者



集合写真



コミュニケーションロボットと会話